

## 活1-1 産業の振興

### 施策の目標

市内の農業・商工業を振興し、地域経済の発展をめざします。

### 現状と課題

日本の産業において農業の占める比率は年々減少する傾向にあり、商店街の衰退も共通して見られる現象です。

西東京市では、後継者不足や農地の相続に関する税制等の影響で、農家数や農地（生産緑地）面積は年々減少の傾向にあります。また、商業では、商店の廃業や空き店舗の増加などにより商店街が衰退する状況が見られ、工業では、大規模工場の撤退や縮小等により事業所などが大きく減少しています。

今後は、農業においては、持続可能な農業経営の環境を整えること地産地消の促進に向けた身近な生産加工流通体制づくり、農地の多面的な役割の活用を検討、農家と市民との交流促進など地域に密着した農業の振興に取り組むことが必要です。

また、商工業者については、個々の商工業者の経営の維持・発展に向けた取組、地域性を考慮した商店街の振興や商工業の振興、地域雇用の促進などが課題です。

#### ●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆農を通じた市民との交流
- ◆農産物のブランド力の向上
- ◆関係機関との連携による商工業の振興

### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 活1-1-1 農業経営を促進し、都市農業の魅力向上に努めます

近年、都市部において農業を生業として生計を立てることは多くの課題を抱えており、困難な状況となっています。

持続可能な農業経営の環境を整えるため、市内産農産物の付加価値を高める取組を進めるとともに、農業者に対する農業経営の支援を進めます。

また、身近にある直売所などでの地元農産物の販売は市民にとっての都市農業の魅力となっています。安全・安心な農産物の供給や「めぐみ」ちゃんブランドの活用による生産・流通に取り組み、市民に身近な生産加工流通体制づくりを進めます。

また、さまざまな情報媒体を活用して、地域の農業に関する情報提供を進め、市民と農家との相互理解を深め、農業を営みやすい環境を整えます。

### 活1-1-2 農にふれる機会を提供し、農地の保全に取り組めます

都市と農業が共生するまちづくりの推進や農地の保全には、市民の理解と協力が必要となります。

農業体験や各種イベントなどにより農を通じた市民との交流を進めることで、農業や農地に関する理解を深めるとともに、規模や能力に応じた営農支援や援農者を含む担い手の育成などを通じて営農を継続し農地を保持できるような対策を進めます。

#### ●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

### 活1-1-3 多様な商工業の振興を進めます

地域経済の活性化には、商工業の振興が必要です。

活気に溢れた魅力ある商店や商店街が増えることで多くの人が行き交う賑わいのあるまちを創り出すことができます。

地域の特色を生かした戦略的な商業振興に取り組むとともに、次世代商工業者の育成と入りたくなる店づくりへの支援や、商業者・商店街と市民、農家などが連携した取組や地域資源を活用したまちづくりを推進します。

また、中小企業などの経営の安定化を図るため、関係機関との連携による商工業振興を進めます。

### 活1-1-4 地域労働環境の向上に努めます

地域労働環境の向上のためには、市民の就業機会の提供や地域内の事業所やそこで働く人の労働環境の改善が必要です。

ハローワークなどの関係機関と連携した就業支援や労働環境改善のための取組を進めます。

## 活1-2 新産業の育成

### 施策の目標

起業・創業に対する支援を行い、新たな地域産業の活性化をめざします。

### 現状と課題

グローバル化した世界経済の減速や東日本大震災による消費活動や生産活動への制約は、本市の地域経済にも少なからず影響を及ぼしています。

商工業分野では、大規模工場の撤退や縮小、関連事業所の減少のほか、商店街における後継者や空き店舗の課題がある一方で、市内では新たに創業する事業者もみられます。

このような状況の中で、市が支援し、西東京商工会が運営する西東京創業支援・経営革新相談センターでは、社会ニーズに対応した様々な支援を進めてきました。

また、本市が住宅都市であることを踏まえて、住宅と共生が可能な産業として、ソフトなものづくり産業への支援について調査・研究をしています。

今後は、西東京商工会などを中心とした起業、創業を支援するための体制の継続や、空き店舗活用などによる商店街の活性化、市内事業者や大学との連携が必要です。

●市のデータ（図・表）、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆西東京創業支援・経営革新相談センターを中心とした起業、創業のための支援
- ◆ソフトなものづくり産業への支援

### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 活1-2-1 起業・創業に対する支援や環境整備を進めます

新産業の育成には、関係機関と連携した起業・創業しやすいしくみづくりが必要となります。

起業・創業を促すため、ベンチャービジネスやSOHOなどの経営者の相談や融資などの経営支援を進めるとともに、住宅との共生が可能な情報産業やコンテンツ産業などの「ソフトなものづくり産業」の起業誘致・育成支援などについて調査・研究を行います。

●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

### 活1-2-2 産学公連携の取組を進めます

新産業の育成による地域の活性化には、市内の大学を活用した取組が効果的です。

市内の大学と事業者、行政が連携して、地域資源、知的資源、技術力の活用などを推進するとともに、産学公の連携促進のための調査・研究や異業種交流などに取り組みます。

●市のデータ（図・表）、写真など

※必要に応じて掲載

## 活2-1 まちの魅力の創造

### 施策の目標

自然や歴史、文化などの地域資源を活かし、まちの魅力を向上させるとともに、積極的な情報の発信に取り組みます。

### 現状と課題

活気あるまちであるためには、市外からも人を呼び込めるような魅力があるとともに、その魅力が十分に広報されることが必要です。

西東京市は、5つの鉄道駅が存在し、都市計画道路の整備も進められるなど、交通の便が良く、都心に比べ比較的多く残されています。また、下野谷(したのや)遺跡など、歴史や文化などの地域資源も多くありますが、魅力を十分にアピールできていない状況があります。

今後は、魅力ある景観づくりや「西東京ブランド」の構築、地域資源である東大生態農学機の活用の検討、さまざまな情報媒体を活用した、まちの魅力の発信が課題です。

●市のデータ(図・表)、写真

※必要に応じて掲載

### 施策推進のためのキーワード

- ◆西東京ブランドの構築
- ◆まちの魅力の情報発信力の強化
- ◆東大農場を活用したまちづくり

### ●成果指標

## ○課題解決に向けた視点

### 活2-1-1 水とみどりに親しみ、まち歩きを楽しめる環境整備を進めます

水とみどりに親しめる空間やまちを歩いて楽しめる環境は、まちの魅力を高めます。

市内の環境基盤を活かしたまちづくりを進めることで、市外からも多くの人が集うことによるまちの活性化が図られます。

東伏見公園の整備や石神井川の改修による新たな水とみどりの景観をまちづくりに活かすとともに、市内に点在する公園や歴史資源と散歩道などをネットワーク化し、だれもがまち歩きを楽しむことのできる散策ルートを設定を進め、心身ともに健康な生活を送れるよう努めます。

●市のデータ(図・表)、写真など

※必要に応じて掲載

### 活2-1-2 西東京市にある地域資源の利活用の検討を進めます

人が集う魅力あるまちをつくるためには、市内のさまざまな地域資源の活用、人が集まるきっかけづくり、まちのPRが必要です。

市民の憩いの場や商店街、文化財、特産物などの地域資源を有効的に活用し、まちの魅力向上につなげます。特に、市内に在る東大生態農学機を活用した、市民の交流や食と農に溢れるイベントの開催などの取組を進めます。

また、まちの魅力をアピールするため、ホームページやコミュニティラジオ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)などの情報媒体の活用した市内外への積極的な情報発信の検討を進めます。